

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2022年度第8回(10月)理事会議事録

- ◇日時： 2022年10月13日(木) 19時00分～20時30分
- ◇会場： Web 会議併用(公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所)
- ◇出席者： (事務所参加) 増田、上田、山西、梶、安保、岡本、谷川、上地、赤木、
喜舎場、佐藤、竹村、是永、堀田、柴監事、井戸田監事、高田参与、竹浦
参与
(Web 参加) 久保田、山田、藪、豊田
- ◇議長： 増田
- 本理事会は Zoom 会議システムを用いて理事会を開催する旨を宣言し、意見表明が互いにできることを確認し議案の審議に入った。

【 討議内容 】

I. 行動報告(9月分)

- 9月1日 臨地実習指導者講習会打ち合わせ
安保
- 9月5日 合同フォーラム打ち合わせ
増田、岡本、赤木、喜舎場
(Web) 上田
- 9月6日 大阪市衛生検査所精度管理立ち入り調査
竹村
- 9月8日 第7回理事会
(事務所) 増田、上田、梶、安保、山田、谷川、上地、岡本、赤木、
喜舎場、佐藤、是永、藪、堀田、柴、井戸田、竹浦、高田
(Web) 豊田、久保田
- 9月8日 大阪市衛生検査所精度管理立ち入り調査
岡本
- 9月11日 タスクシフト・シェア講習会
谷川、岡本、赤木、喜舎場、是永
- 9月11日 臨地実習指導者講習会
安保
- 9月16日 組織部会
(事務所) 上田、谷川、藪
(Web) 堀田、是永

- 9月20日 渉外部会
 (事務所) 岡本、赤木、喜舎場
 (Web) 上田
- 9月21日 総務庶務・広報・会計部会
 (事務所) 梶、山西、上地、山田、赤木、喜舎場、佐藤、是永、豊田、薮、堀田
 (Web) 久保田
- 9月22日 日臨技支部幹事会
 高田
- 9月23日 日臨技理事会
 高田
- 9月28日 常務理事会
 (事務所) 増田、山西、上田、梶、山田、安保
 (Web) 久保田
- 9月29日 第6回大臨技医学検査学会 実行委員会
 (事務所) 増田、梶、安保、薮、竹村、赤木、喜舎場、佐藤、豊田
 (Web) 上田、谷川、岡本、山田、上地、是永、堀田
- 9月29日 大阪市衛生検査所精度管理立ち入り調査
 高田
- 9月30日 地区責任者会
 (事務所) 上田、喜舎場、薮、堀田、是永
 (Web) 谷川

II. 経過報告

1. 事務局

〈総務庶務部〉(報告者：梶副会長) 9月21日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 2023年新年互礼会について検討した。
- (2) 議案書の送付について検討した。
- (3) 入会申込書・会員異動届・退会届について検討した。
- (4) 会計月次報告について検討した。

〈広報編集部〉(報告者：山田常務理事) 9月21日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 大臨技ニュース9月号 Web 版を発行した。
- (2) 大臨技ニュース10月号(第405号)の編集作業を行った。
- (3) ホームページの更新を随時行った。

2. 財務局

〈会計部〉(報告者：久保田常務理事) 9月21日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 事務員 9 月給与を支給した。
- (2) 10 月からの会計方法について検討した。

3. 事業局

〈渉外部〉(報告者：上田副会長) 9 月 20 日 (火) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 手話講習会について確認した。
- (2) 大臨技「検査と健康展」について検討した。
- (3) 疾患予防啓発講演会について検討した。
- (4) 第 6 回大臨技医学検査学会 渉外部参加について検討した。
- (5) 大臨技がんフォーラムについて検討した。
- (6) リレーフォーライフ大阪あさひについて検討した。
- (7) 2022 年度夏季献血推進活動 (通算第 58 回) について実施報告を行った。
- (8) 令和 4 年度吹田市みんなの健康展について開催報告を行った。
- (9) 第 17 回府民健康フォーラムの進捗について報告した。
- (10) 2022 年度大臨技大放技合同フォーラムの進捗について報告した。
- (11) 理事会報告を行った。

〈組織部〉(報告者：上田副会長)

- (1) 組織部会 9 月 16 日 (金) Web 併用にて会議をした。
 - ・理事会報告を行った。
 - ・連絡事項の共有を行った。
 - ・施設連絡者会・技師長会について検討した。
- (2) 地区責任者会 9 月 30 日 (金) Web 併用にて会議をした。
 - ・理事会報告を行った。
 - ・各地区オープンセミナー企画報告を行った。

〈精度管理部〉(報告者：竹村理事) 9 月 22 日 (金) メール会議をした。

- (1) 標準化サーベイ報告書の進捗状況の報告をした。
- (2) 実務統計講座開催の打合せをした。
- (3) 精度管理報告会開催様式の報告をした。

〈学術部〉(報告者：安保常務理事) 開催なし

- (1) メールにて日臨技近畿支部学会の座長推薦の依頼をした。
- (2) メールにて大臨技医学検査学会企画の依頼をした。

III. 報告事項

1. 職務執行状況報告について (会長・副会長・常務理事)

- (1) 増田会長、梶副会長、上田副会長、山西副会長、山田常務理事、安保常務理事、久保田常務理事、竹村理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。
- (2) 2022 年 9 月における役員行動報告・役員各部報告があった。

2. 2022年度9月事業開催状況報告について（梶副会長）
 - (1) 上記について資料が示され確認した。
3. 収支相償に関する大阪府からの忠告について（梶副会長）
 - (1) 大阪府より「収支相償に関する回答をもらっているが遂行できるのか。また次年度も利益が出るようなことになると厳しいことを言わないといけないかもしれない。」と忠告があったことが報告された。
 - (2) 収支相償解消のための新事業への取り組みについて今後の協力をお願いした。
4. 会計月次報告について（久保田常務理事）
 - (1) 10月6日（木）会計担当者向けに柴監事が勉強会を開催したと報告があった。
 - (2) 月次報告の締め切りは10月17日でXサーバーに保存してもらおう。
 - (3) 勉強会の動画はVimeoで視聴できる。
5. 大塚製薬後援依頼について（上田副会長）
 - (1) 大塚製薬より会則や役員名簿の依頼がありHPに掲載されているものを送付したと報告された。
 - (2) オンデマンド配信にYouTubeを用いる場合は金銭の受取ができないので確認するように忠告があった。
6. 記念誌「年輪Ⅶ」原稿作成について（山田常務理事）
 - (1) 各担当者に作成依頼をしており、データはXサーバーに保存してもらおう。
 - (2) 未発行であった年輪ⅥをHPへ掲載すると報告があった。
 - (3) 年輪Ⅵに掲載する予定であったデータを酒井氏が所有されていると思うので提供してもらえないか確認する。
7. 委員の参加費について（梶副会長）
 - (1) 委員の研修会における1,001円以上の参加費徴収について曖昧なところがあるので総務部会で検討する。
8. 大阪府PCRの講習会について（増田会長）
 - (1) 11月か12月スタートで6回開催する予定である。
 - (2) 微生物検査部門・遺伝子検査部門に協力をお願いする。
 - (3) 企業ではサーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社や東洋紡株式会社をお願いしている。迅速結果対応のロシュ・ダイアグノスティックス株式会社やアボットジャパン合同会社にも打診する予定である。
9. その他
 - (1) 日本臨床検査学教育学会学術大会について（山西副会長）
 - ・上記について2023年8月23日・24日に天理大学で開催される予定であると報告があった。

IV. 議 題

1. 総会議案書の電子送付について（梶副会長）

（1）総会資料をHPへ掲載する方法を進めていたが法務局に確認したところ定款に電子的方法で行うということが記載されていないので現状ではできないとのことである。

（2）招集通知を電子メールで配信することは可能であるが、会員に承諾を得る必要があるので案内状を送付することが承認され案内状の内容を確認した。

（3）総会資料は電子メールに添付して配信する。

（4）この案内状はポケットプログラムと一緒に送付する予定である。

2. 第6回大臨技医学検査学会について（安保常務理事）

（1）上記についてのテーマが10件提案されたが多数決の結果「臨床検査の未来～再始動！変革への挑戦～」に決まった。

（2）10月27日（木）に第2回実行委員会を日本旅行も参加して行なう予定である。

（3）10月20日（木）にJAMTSに参加登録・一般演題の募集を開始する予定である。

（4）組織部よりタスクシフトを施設で開始した事例について発表したいと考えており、それについて一斉メールを用いてアンケートを行いたいとの申し出があり承認された。

（5）日本旅行からの見積書が提示された。

（6）事務局のメールアドレスを作成したと報告があり、MLも作成予定であると報告があった。

3. 2023年新年互例会について（上地理事）

（1）洋食コース料理（2,083,592円）と卓盛り料理（1,502,792円）の見積書が提示された。

（2）予算は事業費100万円と参加費収入80万円を合わせた180万円である。

（3）今後もホテルと打ち合わせをして詳細を進めていく予定である。

4. ATC OSAKA MIRAI EXPO（プレ万博）参加について（増田会長）

（1）収支相償の解消のために上記について参加するかどうか検討された。

（2）柴監事より2023年4月13日～16日までの開催であるので費用については来年度の経費になると助言があった。

（3）出展料は2日間で1コマ25万円、15日～16日のPublic Dayに2コマで出展することが承認された。

（4）渉外部の健康展のような開催形式で行ない、臨床検査技師の仕事を広く知ってもらえるように開催する。

5. ポータブル超音波診断装置の購入について（増田会長）
 - （1）収支相償の解消として健康展やプレ万博でも使用できるので購入の検討をした。
 - （2）機種を選定や見積書の収集を行う。
6. 後援申請について（梶副会長）
 - （1）日本医療マネジメント学会より 2023 年 5 月 13 日開催の第 15 回日本医療マネジメント学会の後援依頼があり承認された。
 - （2）公益社団法人臨床心臓病学教育研究会より 2022 年 11 月 2 日開催の 1 日で学ぶ心電図集中講座の後援依頼があり承認された。
7. 日臨技貢献賞について（梶副会長）
 - （1）竹浦参与を推薦することが承認された。
8. 第 72 回日本医学検査学会 ポスター、チラシの発注について（梶副会長）
 - （1）施設にポスター 1 枚、チラシ 3 枚を送付する。
 - （2）不足する場合は HP から PDF をダウンロードして印刷する。
9. その他
 - （1）8 月開催の病理実技研修会の実務委員の日当について（安保常務理事）
 - ・当日実務委員 11 名に日当を支払った処理をしているが実技研修会の講師として任務をしたので講師としての支払いに変更できないかと相談があった。
 - ・病理部門より依頼文書を提出してもらってから審議を行うことになった。
 - （2）検体管理システム部門（安保常務理事）
 - ・検体管理システム部門は廃止すると報告があった。
 - ・新しい部門として総合管理部門を立ち上げることを検討している。
 - ・学術部門のなかの公 2 事業とする。